

Comment

New observations regarding *Helicobacter pylori* and gastric cancer in Mongolia

Helicobacter 23: e12491.

大分大学医学部環境・予防医学講座 山岡吉生教授の協力のもと、モンゴルで詳細な胃癌と萎縮性胃炎の内視鏡診断、組織診断が行われたことに感銘を受けた。

モンゴルというと、東アジアの国という認識で、漠然と *H.pylori* 感染や胃癌も日本と似ているのか感じていたが、大きな違いがあることに驚いた。胃上部の癌が多い点は、アジアよりも西欧に近い。CagA 陽性率が高いが、非東アジア型がほとんどであることも驚きである。胃癌症例での *H.pylori* 陽性率もさほど高くなく、*H.pylori* 感染の影響は大きくないのであろうか。その分、環境リスク因子が重要な役割を担っているようである。考察に記されているように、*H.pylori* 除菌に加えて、環境因子への取り組みが胃癌予防に重要であり、それらの介入の結果も今後期待される。

(国際医療福祉大学病院消化器内科 佐藤 貴一)
